

〈合格体験記〉

## 図書館司書職試験合格体験記

文学部 史学地理学科（2014 年度卒）

S. K

### 1. はじめに

私は 2015 年度に実施された司書職採用試験において県立図書館から合格をいただきました。今回は、司書職試験受験と現職についての二つについて書かせていただきます。なお試験については受験から時間が経っていることもあり、思い出せる範囲での記述になることをご容赦ください。

### 2. 採用試験について

#### (ア) 概要

図書館司書として働くには様々な道がありますが、今回は公立図書館で正規職員として働くための方法について主に解説します。

公立図書館の正規職員になるには、司書職として採用されるか行政職で採用されて図書館への異動を待つという二つの道があります。私は自治体が募集する公務員試験司書職採用枠を受験し、前者での採用となりました。

試験日程・形式は自治体によってまちまちです。私の場合はほとんどの教養試験は行政職とほぼ同じ内容でしたが、専門試験は図書系の他にも行政職と同じ問題を出すところや作文だけのところなど幅があり、二次試験以降も面接だけでなくグループディスカッションを課すところなど様々なケースがありました。

なお、公務員試験情報はインターネットで一括確認できる HP もいくつかありますので、

それらを活用すると便利です。

#### (イ) 筆記試験について

私は司書職以外に行政職でも受験をしたので、筆記試験は一般教養問題・行政職専門問題・図書館科目の 3 種類の試験と論作文の対策を行いました。勉強には図書館科目以外は公務員予備校の通信講座や問題集を、図書館科目は各自治体で公開されている過去問を主に利用しました。

一般教養・行政専門は 2 年生の 3 月から勉強を始めましたが、本格的に取り組みだしたのは 3 年生の夏頃です。自分は数的処理と民法、ミクロ・マクロ経済が特に苦手だったので、教科書を読み込んで過去問を何度も解き、出題パターンを徹底的に覚えることに注力しました。また逆に歴史・地理などの好きな科目は苦手科目の息抜きとして取り組むなど、メリハリのある勉強を心がけました。

図書館科目も、本格的に試験対策を始めたのは 3 年生の夏頃です。こちらは過去問で問われている図書館用語や考えなどを文章で説明し、授業レジュメや辞書で確認・採点することを繰り返しました。記述式でも選択式でも同じように文章化することで、より理解を深めることができました。なお現在は図書館科目の問題集も発売されているので、そちらも利用するとより良いでしょう。

試験直前期や試験期間中は、時間を測りながら過去問を解いたり、実際の筆記試験を通じて試験中の時間感覚を調整していきました。公務員試験は日程さえ被らなければいくつでも受験できる上に試験が行われる期間も長いので、できるだけ試験を受けて体を馴らすのも有効な手段でした。

#### (ウ) 面接試験について

私は面接が大の苦手だったので、公務員予備校の面接練習、就職キャリア支援センター、ハローワーク、友人などあらゆる手段を使って面接やエントリーシートの対策を行いました。また1年目は1社しか受けなかった民間企業も2年目は沢山受けることで、面接に進む機会も増えて公務員を受ける際の練習になりました。やはり場数を踏むことが、面接に慣れる一番の方法と考えます。

自治体研究では、資料を読んだり実際にその土地へ足を運んだりということも行いましたが、働いている人に話を聞くということが一番役に立ちました。私が伺えたのは千葉県立図書館の職員の方ではありませんでしたが、公務員になるにあたって必要な視点や問題意識はどの自治体のどの職種でもさほど違いはないので、面接試験を受けるにあたって非常に参考になりました。

私が何十回と面接を受けて見つけた試験を通るためのコツは、自分の心に素直になって語ること、肩の力を抜くことの2点です。受験1年目は自分をよく見せようと思うあまり、小難しい理屈をこねて思ってもいないような事を面接の場で語る事が多く、したがってより緊張してしまい上手く力を発揮することができませんでした。そこで2年目はあまり難しいことは考えず、自分が本当にやりたいことや持っている考えを素直に述べるようにしました。すると相手にも思いが伝わり易くなっただけでなく、肩の力が抜けて以前よりも面接の突破率が大幅に上がりました。いっそ「落ちてもいい」くらいの気持ちで臨んだ方が、緊張しすぎずによい結果を残せると

思います。

### 3. 仕事について

#### (ア) 図書館の概要と担当職務

私が所属する図書館は、千葉県に3つある県立図書館の中のひとつです。千葉県立図書館では3館体制でゆるやかな分担収集を敷いています。

その中で私は、主に県民へ直接にサービスを行う課に所属しています。この課ではカウンター業務の他、展示や講座の開催、データベース作成、障害者サービスなど県民へのさまざまな読書支援を行っています。私も通りの業務には携わっていますが、主にレファレンスサービス、県外間の相互貸借、千葉県関係データベースである「菜の花ライブラリー」内「千葉県関係新聞・雑誌記事索引」の作成、課内の消耗品購入希望の取りまとめを担当しています。

中でも直接サービスの肝であるレファレンスサービスでは、来館以外にも電話やメールでも受け付けているため、日々多くの質問に回答を行っています。理系資料を主に扱う図書館といっても実際に来る質問は歴史や千葉県関係など幅広いため、時には他の県立図書館から資料の取寄せなどを行いながら対応しています。

反対に間接サービスの一環として行うデータベース作成の作業は、千葉日報に掲載された千葉県関係記事を選び、索引を作ってHPにあげるという地味なものです。しかし新聞社によるデータベースがない千葉日報にとって、「菜の花ライブラリー」は新聞記事をインターネットで検索できる唯一の手段であるため、千葉県関係の新聞記事を探すにあたって非常に重要な位置を占めています。3人体制でデータ化・校正を行っており、私は記事の選定とHPへの最終アップを担当しています。

#### (イ) 実際に働き始めて

千葉県立図書館に勤め始めてから私は、世の中には本当に様々な背景や性格を持った人

がいて、図書館はどんな人でも受け入れる施設であるということを経験しました。公立図書館は無料の公共施設であるからこそ、色々な人が来ます。そして司書はサービス業であるが故に、どんなに人が来ても平等に丁寧な対応をしなければなりません。まだ入庁して10ヶ月ですが、あまりに横柄な利用者にも腹を立てていっそ辞めてしまいたいと思ったことも何度かありました。

しかし利用者に手酷く扱われることも少なくないからこそ、資料を提供して心から喜ばれると励みになり、司書になって良かったと心から思うことも事実です。これから司書を目指そうとする方には、この現実も心に留めておいてほしいです。したがって、広い心で人と接することができる人が向いている仕事であると言えるでしょう。

また、図書館が一部のみにしか使ってもらえておらず、同時に司書の役割の認知度が想像以上に低いということも、働き始めて痛感したことです。図書館に児童室がなく専門書が多いことも一因ではありますが、図書館の利用者は高齢者が多く、若者が本を借りたり質問をしに来ることはあまりありません。

更に就職先についての質問に答えると決まって「司書って何をやっているの?」と尋ねられ、この仕事の認知度の低さに悲しくなりました。これからは、より多くの年代の人に図書館を利用してほしい、司書という存在の重要性についても広くアピールできるような取り組みも行っていきたいと考えています。

#### 4. おわりに

これまで採用試験から現職について長々と書き記してきましたが、最後に司書職を目指す後輩の皆さんに向けて3つ、アドバイスをしたいと思います。

一つ目は、司書になりたい理由をとことん突き詰めてから受験に挑むべきだということです。図書館司書は、資格取得率に対して就職率が非常に低いことで有名な職業の一つです。そして就職が大変な一方、想像よりも体力・精神力と

もにハードな仕事であるためにミスマッチも起こり易いのではと推測しています。よってそれを防いで受験や合格後のモチベーションを保つためにも、「なぜ司書になりたいのか」「他の仕事では駄目なのか」をしっかりと考え、自分の就活に関する基盤を固めてから採用試験に挑みましょう。

二つ目は、例え一度就失敗したとしても、何度でもチャレンジできるのが司書職採用試験だということです。司書として働く人の中には、アルバイトや別の仕事から転職して採用された方が多くいます。新卒でないという就活に影響が出るのではと考える人は多いですが、それが当てはまらないのがこの業界の大きな特徴と言えるでしょう。私も1年浪人しましたが、それが就活に於いて不利になったということは全くなく、むしろその間にしたアルバイトや聴講制度を利用した勉強経験はとても有意義なものでした。よって司書になりたい気持ちが続く限りは、失敗にもめげずにぜひ何度でも挑戦してもらいたいです。

そして何よりも伝えたい事は、就活だけでなく様々な事に首を突っ込んで、学生生活を思い切り楽しんでほしいということです。学問、遊び、サークル活動など、学生の頃しかできないことは山ほどあります。これらを諦めて生活の多くを就活やそのための試験勉強に充ててしまうのは、非常にもったいないことだと考えます。両立は大変ではありますが、ぜひ興味のある事には片端から参加して、毎日の生活を豊かにしていってください。

とりとめのない文章でしたが、もしこれが皆さんの就活にほんの少しでも役に立てたら幸いです。採用試験の合格を、心からお祈りいたしております。

注) ウェブサイトでの公開にあたり、文章の一部を改変しています。